

卒業記念講演会

講師：金田 真須美氏

「東日本大震災の被災地から～

笑顔のために～」

募金活動へのご協力、ありがとうございました

寒の戻りで雪が降った3月12日と講演会当日の13日の朝、生徒会とPTA役員が校門に立ち「東日本大震災被災者支援」のための募金活動を行いました。生徒会手作りの可愛い動物の絵が貼られた募金箱に登校中の生徒が次々と募金をしてくれました。その日のお昼代から『少しですけど』と募金してくれた生徒も多く、活動する生徒会のみんなもPTAも優しさをたくさんもらった気がしています。保護者の皆様、生徒のみなさん、そして、先生方、ご協力ありがとうございました。

卒業記念講演会場でも保護者の皆様から募金をお寄せ頂き、集まった募金額は **総額 138,722円** でした。記念講演終了後、生徒会長より金田真須美さんに託しました。寄せられた募金は「チーム神戸」を通じ被災者支援のために使って頂きます。

♪ * * * * * ♪ 感動の「地球星歌～笑顔のために～」 ♪ * * * * * ♪



美術部制作の素敵な看板が背景に



前生徒会長より花束が、現生徒会長より募金が贈呈されました

この講演会にあたり、「私たちに出来る事」をPTAと生徒会は共に考えました。生徒会は、「遠くから応援している気持ちが伝わるよう一生懸命歌おう」と生徒達に呼び掛けることと、募金活動を提案してくれました。

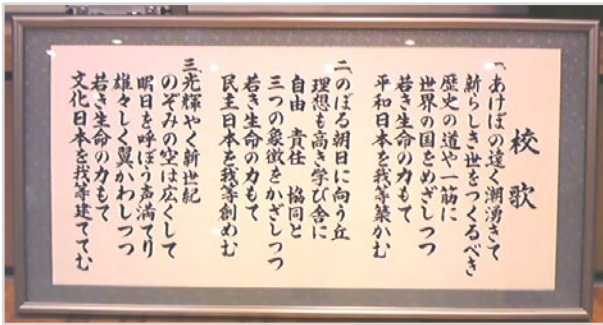
その気持ちに生徒達が応え「地球星歌～笑顔のために～」の歌声は意志を持った強さと優しさに溢れ、体育館全体が感動に包まれました。

金田さんは講演終了後『私はこの感動と歌声をどうやって被災者に伝えましょう。合唱がこんなにも人に感動を与えるものだ初めて知りました。感謝の気持ちでいっぱいです。』と泣いておられました。講演の中で坂本珠希先生の『今、一番幸せを感じる時は？』という質問に『被災者の方々の笑顔を見た時です。』と答えられた金田さんですが、『あの合唱を聞いた後に質問を受けていたら、答えは違っていました。』とおっしゃっていました。

募金活動と合唱の取組みを通じ、自ら考え行動することの大切さと、一人一人が力を合わせることで大きな力になることを、生徒達からあらためて学びました。勝中生の一生懸命はやっぱりかっこいい！！

金田さんから頂いた宝物のような言葉たち

「地球も息をしています。何かが起こらないことを考えるのではなく、起きたときにどう対処するかです。」 「地球も人間も花も同じく生きています。花にいろんな色があるように人間にも肌の色、手足、言語、様々な違いがあります。違うけど、そんなに違いません。京都にも東北から避難している方々はたくさんいらっしゃいます。まずは知ること、そして情報に惑わされることなく自分の頭で考えることです。」 「人に優しくされて嫌がる人はいません。毎年、3月11日は必ずきます。3月11日を人に優しくする日にしませんか？一年365日、その中に皆さんの3月11日をたくさんつくって笑顔を増やして行って下さい。」



「校歌」額の除幕式には、校訓旗の書を書いて下さった前校長田村幸明先生もお祝いに駆けつけて下さり、生徒達の成長を喜んで下さいました。

戦後の復興への願いを込められて作られた勝山中学校の校歌は、まさにこの時代を生き、未来を創っていく生徒達が世界に誇れる校歌だと思います。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

平成23年度卒業生のみなさん

ご卒業おめでとうございます！！

本日は、ご卒業おめでとうございます。

卒業生保護者のみなさまには、三年間 PTA 活動へのご理解とご協力を賜りました事、心より感謝申し上げます。

ご卒業に際しまして、二点ご連絡を致します。

制服リサイクルにご協力をお願いします m(__)m

〈男子〉学生服・カッターシャツ・体操服・ジャージ上下・柔道着・体育館靴

〈女子〉学生服・カッターシャツ・体操服・ジャージ上下・体育館靴

*いずれも洗濯をしたもの・年間を通じて受け付けています。

【受け渡し方法】

勝山中学校 PTA に届くには、「在校生をつうじて」「職員室の先生に預ける」「PTA の役員に渡す」等の方法が考えられます。新学期になり、旧担任の先生を訪ねる時などの機会にぜひ、お届け下さい。リサイクル制服は、主に受験を控えた時期の需要が高いため、来年度3年生のためにぜひご協力をお願いします。



携帯連絡メールの解除方法は、

解除に必要な URL を添付した連絡メールを明日(16日)配信します。画面誘導に従って解除をして下さい。